



®環境省

エコアクション21
認証番号0008050

株式会社 トーホー

環境経営レポート2020

■ 対象期間:2020年5月～2021年4月

■ 発行日:2021年7月20日

〒994-0063 山形県天童市東長岡4丁目2番17号

TEL023-658-4115(代) FAX023-658-4114

<https://www.tohoinc.com>



～CONTENTS～

- 1. 経営理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・p2
- 2. 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・p2
- 3. 事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・p3
- 4. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・p4
 - 4-1. 事業者名及び代表者氏名
 - 4-2. 所在地
 - 4-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - 4-4. 設立年月日
 - 4-5. 資本金
 - 4-6. 事業活動の内容と対象サイト(認証・登録範囲)
 - 4-7. 事業の規模
 - 4-8. 環境マネジメントシステム実施体制
- 5. 環境負荷の現状(2019年度環境負荷自己チェック結果より)・・p5～6
- 6. 環境経営目標及びその達成状況・・・・・・・・p7～13
- 7. 環境経営計画と取組状況の評価・・・・・・・・p14
- 8. 2020年度の環境経営目標と環境経営計画・・・・・・p15
- 9. 環境関連法規等の遵守状況, 訴訟等の有無・・・・・・・・p15
 - 9-1. 適用を受ける環境関連法規等とその遵守状況
 - 9-2. 訴訟等の有無
- 10. 代表者による全体の評価と見直し・・・・・・・・p16



株式会社 トーホー本社(山形県天童市)

1. 経営理念



トーホーは、水資源の有効活用と省エネルギー化を推進し、大切な資源を次の世代へとつなぎます。

2. 環境経営方針



環境理念

株式会社 トーホーは、地下水浄化システムの製造販売・メンテナンスならびに省電力システムの提案・施工・販売などの業務を通じて、お客様に、低コストで、安全・安心な水を提供し、また、省エネルギー推進のお手伝いを行っています。

私たちは、エコアクション21環境経営システムを運用することによって、継続的に自らの事業活動が環境に与える影響と負荷を可能な限り削減していくとともに、豊かな自然が育んだ恵まれた水資源を大切に、エネルギーの有効利用を通して、社会に貢献してまいります。

環境行動指針

- 事業活動に伴う二酸化炭素排出量を削減します。
- 事業活動に伴う廃棄物の排出量を削減し、再資源化を推進します。
- 自らの水使用量の削減に向けた取組を推進します。
- 化学薬品の適正使用・管理を行います。
- 製品の製造・稼働・廃棄に伴う環境負荷の削減を目指します。
- 事業活動を通じて、お客様の環境負荷削減に貢献します。
- 環境関連法規等を遵守します。
- SDGs（持続可能な開発のための2030アジェンダ）を意識しつつ、環境問題を幅広く捉えて、行動していきます。
- 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善していきます。

制定：2011年7月1日（最終改訂：2020年7月20日）

代表取締役社長 横澤裕一

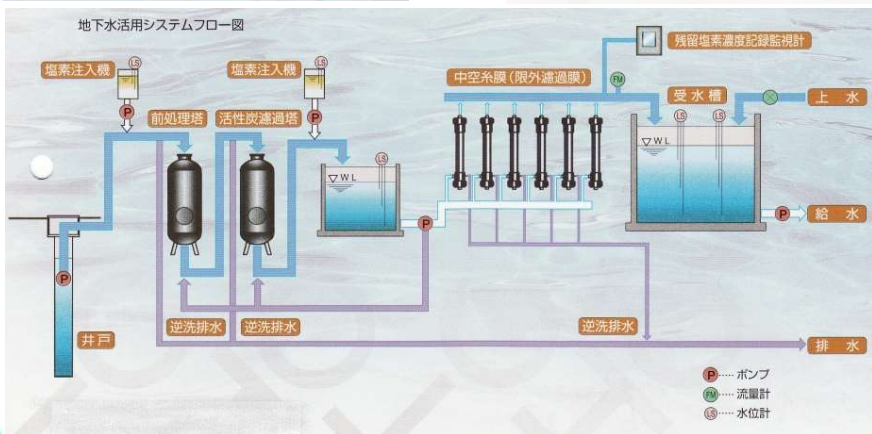


3. 事業内容



地下水活用システム

トーホーの地下水活用システムは、お客様の敷地内に井戸を掘削し、その水質に応じて適切な前処理装置と膜ろ過装置を導入することで、水を安定的に供給します。設備設置後は定期メンテナンス、緊急時の対応まで一貫で承っていますので、綿密なアフターサポートが可能です。



今後、ますます重要になる地下水の有効活用と、電気をはじめとする省エネルギー化。トーホーは、日本の未来を見据えた環境事業に取り組んでいます。

省電力システム

トーホーが省電力機器の販売を開始したのは昭和57年のことです。信頼と実績を積み重ね、現在まで事業を継続して参りました。エネマネ (EMS) 事業者としての特性を活かし、LED照明やデマンド監視装置、初期投資ゼロのレンタルシステムなど、お客様のニーズに合わせ、省エネ効果が期待できるプランを提示します。



電源内蔵型LEDランプシリーズ

既存の器具がそのまま使用可能！
償却年数を大幅にカット！

FLR110W型 HF86W型
FLR40W型
FL20W型
FLR40Wスリム型 HF32W型
FPL36W型 FHP32W型
FPL55W型 FHP45W型

スーパー 病院 工場 アミューズメント施設 商業施設

特長

- メイドイン JAPAN
日本国内のISO認定工場
専用ラインで厳密検査を実施
- 高発光 高効率
業界トップクラスの
160lm/wを実現
- 多品種 短納期
国内生産ならではの
カスタム対応
- 簡単施工
電源内蔵だから
簡単施工、工事代削減

4. 組織の概要



4-1. 事業所名及び代表者氏名

■株式会社 トーホー ■代表取締役社長 横澤裕一

4-2. 所在地

■本社・東北支店：〒994-0063 山形県天童市東長岡4丁目2番17号
TEL023-658-4115 (代) FAX023-658-4114

■東京支店：〒110-0016 東京都台東区台東2丁目25番6号
勝徳ビル

TEL03-3835-0191 (代) FAX03-3835-0195

■大阪支店：〒564-0051 大阪府吹田市豊津町41-14 榎原ビル
TEL06-4861-2630 (代) FAX06-4861-2631

■札幌営業所：〒062-0002 札幌市豊平区美園2条5丁目2番10号
株式会社テー・イー・エス事務所内
TEL011-831-9751 (代) FAX011-831-9992

4-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

■環境管理責任者：東北支店長 岡田光一

■連絡担当者：エコアクション21推進事務局 神野正孝

■連絡先：TEL023-658-4115 (代) FAX023-658-4114

■Email：m-kanno@tohoinc.com

4-4. 設立年月日

■1975年（昭和50年）5月30日

4-5. 資本金

■9,000万円

4-6. 事業活動の内容と対象サイト（認証・登録範囲）

■事業活動の内容：地下水活用システムと浄化装置の設計施工ならびにメンテナンス業務、エネルギーマネジメントシステムの構築・販売

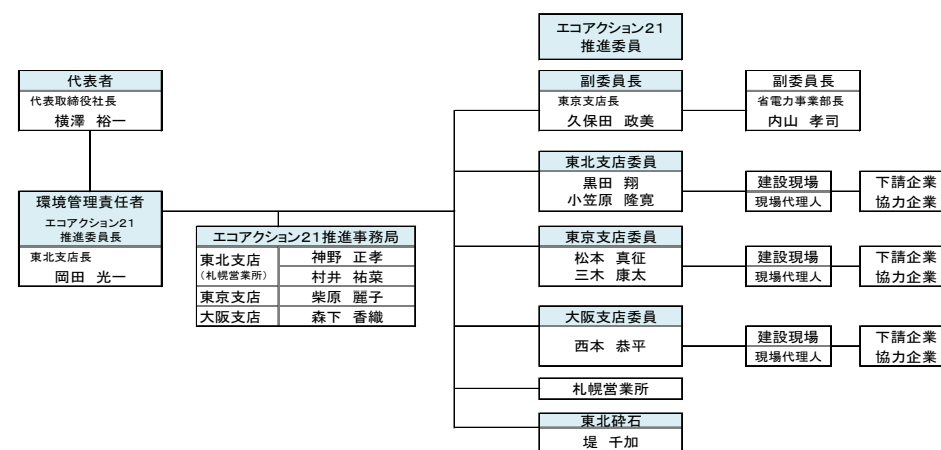
■対象サイト：本社（東北支店）・東京支店・大阪支店・札幌営業所・建設現場

4-7. 事業の規模

※事業年度は毎年5月～翌年4月まで

事業年度※		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
事業規模の指標						
売上高(百万円)		1,773	1,931	1,883	2,242	
従業員数 (人) ※5月1日 時点在籍	合 計	49	50	51	54	51
	本 社	14	14	15	17	17
	東京支店	27	28	28	29	27
	大阪支店	8	8	8	7	7
札幌営業所		(常駐しておりません)			1	1
地下水浄化装置数(管理対象)		126	130	132	136	

4-8. 環境マネジメントシステム実施体制（2021年5月1日現在）



5. 環境負荷の現状（2020年度環境負荷自己チェック結果より）



※集計期間は、当社会計年度に合わせ、毎年5月～4月とします。

※廃棄物排出量を除き、建設現場における環境負荷は含まれていません。なお、当社が行う建設工事の大部分は下請け業者が行っており、当社が直接施工することはほとんどありません。

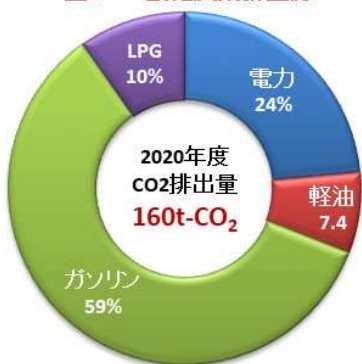
A. 二酸化炭素排出量（温室効果ガス排出量）

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、各電気事業者の2014年度調整後排出係数（東北電力：0.573、東京電力：0.496、関西電力：0.523）を用いています。

1) 当社における2020年度（2020.5～2021.4）の二酸化炭素排出量は、合計160 t（本社：81t、東京：49t、大阪：30t）となっており、一般家庭（年間3.97t：2019年度）約40軒分の排出量に相当していました。前年度比6.8%増加（本社：3.2%減、東京：37%増、大阪：1.1%減）となっています。

2) 2020年度当社から排出された二酸化炭素の76%は化石燃料の使用に伴うもので、その中でもガソリンが95 tで、全体の59%を占めていることが判りました。以下、電力消費に伴うものが24%、軽油7.4%、LPG9.8%（本社暖冷房）となっていました。（図1）

<図1：二酸化炭素排出源>



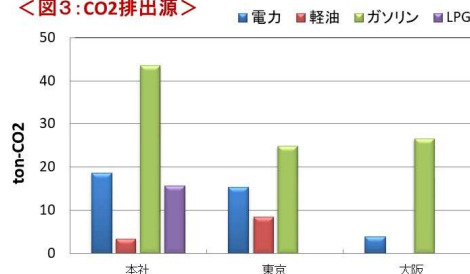
<図2：エリア別排出割合>



3) エリア別の排出量では、全体の51%が本社、東京30%、大阪19%となっていました。（図2）それぞれの発生源割合は、本社（ガソリン54%、電力23%、LPG19%）、東京（ガソリン51%、電力31%）、大阪（ガソリン87%、電力13%）といずれもガソリンの負荷が最も大きくなっていました。（図3）

4) 月別の排出量では、本社においては、暖房時の12月にピークが表れています。（図4）増加分の大部分は電力とLPGの消費によるものと思われます。東京では、8月と2月に、大阪では、7月に使用量のピークが見られました。（図5,6）

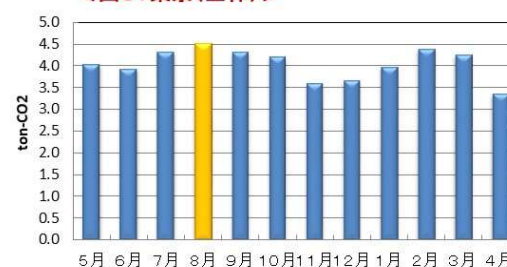
<図3：CO2排出源>



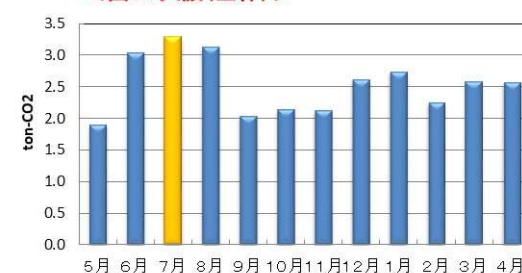
<図4：本社(全体)>



<図5：東京(全体)>



<図6：大阪(全体)>



B. 廃棄物排出量

■一般廃棄物排出量

- 1) 2020年度において、本社1,479kg（前年比15%減）、東京506kg（同20%減）、大阪622kg（同42%減）を排出しました。2019年度と比べ、全体として25%減少しました。
- 2) その種類は、本社においては、段ボールが80%、可燃ゴミ16%となっていました。東京と大阪は、可燃ゴミがそれぞれ、62%、39%と比較的に多くなっていました。東京と大阪では可燃ゴミをいかに減らしていくかが課題です。
- 3) リサイクル率は、本社83%（2019年度：86%）、東京38%（同：45%）、大阪80%（同：75%）となっていました。本社が高いのは、雑誌・新聞・段ボールの占める割合が高いためと思われます。

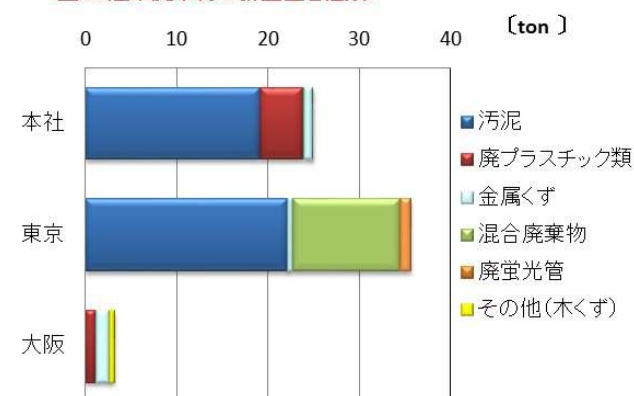
<図7：一般廃棄物の排出量と種類>



■産業廃棄物排出量

- 1) 発生する産廃は、顧客のろ過装置から発生するろ材や塩ビ管（廃プラ）ならびに凝集沈殿スラッジ（汚泥）であり、現段階では、すべて埋立処分となっています。
- 2) 2020年度排出量は、本社24.8t（2019年度：48.1t）、東京35.6t（2019年度：28.3t）、大阪3.2t（2019年度：4.9t）となっていました。
- 3) 産廃発生量は通常運転時に発生するものだけでなく、新設工事時や更新時などにおいても大量に発生するため、毎月発生する産廃量を毎月の累計施設数で割った値を長期的にモニタリングしながら、統計的な適正範囲で管理していくことにします。

<図8：産業廃棄物の排出量と種類>



C. 水使用量

- 1) 本社の上水使用量は238m³で、ドラム缶（200L）で換算すると1190本分に相当します。昨年度使用量182m³から、56m³（31%）と大幅に増加しました。原因は不明です。本社では、上水の外、駐車場の消雪用に冬期間地下水を利用していますが、メーターが設置されておらず、現段階での使用量は把握できていません。
- 2) 東京の上水使用量は187m³で、ドラム缶（200L）で換算すると935本分に相当します。昨年度使用量230m³から、43m³（19%）減少しました。
- 3) 大阪の上水使用量は79m³で、ドラム缶（200L）で換算すると385本分に相当します。昨年度使用量77m³から、2m³（2.6%）増加しました。



D. その他（化学物質等）

- 1) PRTR対象化学物質が含有される薬品類の使用はありません。
- 2) 毒劇法に基づく、劇物（硫酸、苛性ソーダ等）については、購入使用量を把握し、適正管理に努めています。



6. 環境経営目標及びその達成状況



1) 総二酸化炭素排出量

東北支店の膜洗浄で発生した分は除きます。(※)

環境目標項目	中期目標(期間:2020~2022年度)			備考
総二酸化炭素排出量 ※東北は膜洗浄で 使用した分を除く	東北	基準年度実績値の9%削減	82,567	単位: kg-CO ₂
	東京	基準年度実績値の12%削減	32,168	
	大阪	基準年度実績値の5%削減	29,967	
	合計	全体として基準年度実績値の8.9%削減	144,702	

目標達成状況(2020)		本社	東京	大阪	総合
基準年度実績値[kg-CO ₂]		91,425	36,554	31,544	159,522
基準年度		2014	2014	2016	
2020 年度目標	削減率	7.0%	10.0%	3%	6.9%
	目標値[kg-CO ₂]	85,025	32,898	30,597	148,521
2020年度実績		77,082	48,602	30,461	156,146
削減率 ※「-」は増加を示す		15.7%	-33.0%	3.4%	2.1%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)		○	×	○	△

<総二酸化炭素排出量>



記録的な暖冬や新型コロナウイルスの影響などの影響もあり、結果として、全体的に二酸化炭素排出量は抑制されました。

※お客様の地下水浄化プラントで使用している過膜の洗浄作業で使用する電力や水については、削減目標を設定し管理していくことは、現実的に難しいことから、対象外としています。

2) 電力使用量

東北支店の膜洗浄で使用した分は除きます。(※)

環境目標項目	中期目標(期間:2020~2022年度)			備考
電力使用量 ※東北は膜洗浄で 使用した分を除く	東北	基準年度実績値の34%削減	22,930	単位: kWh
	東京	基準年度実績値の13%削減	28,031	
	大阪	基準年度実績値の29%削減	6,288	
	合計	全体として基準年度実績値の24.5%削減	57,249	

目標達成状況(2020)		本社	東京	大阪	総合
基準年度実績値[kWh]		34,743	32,219	8,856	75,818
基準年度		2010	2010	2015	
2020 年度目標	削減率	32.0%	11.0%	27%	22.5%
	目標値[kWh]	23,625	28,675	6,465	58,765
2020年度実績		24,975	30,876	7,351	63,202
削減率 ※「-」は増加を示す		28.1%	4.2%	17.0%	16.6%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)		△	△	△	△



【本社】2019年の記録的な暖冬の反動で、特に冬場の使用量が大幅に増加してしまいました。

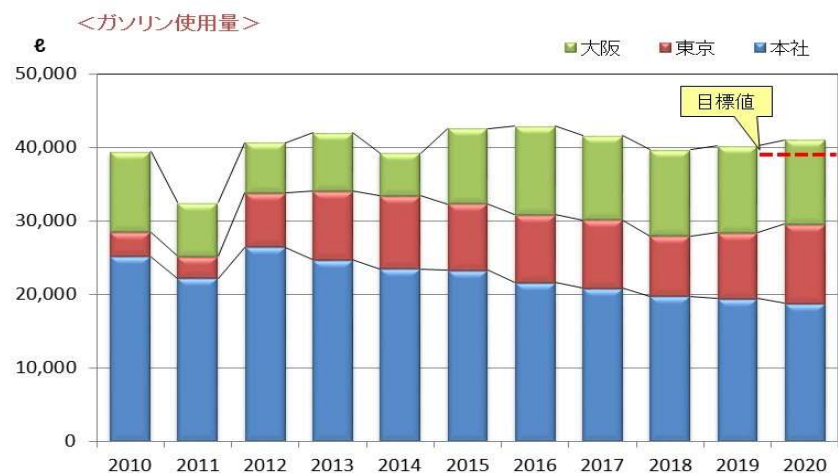
【東京】コロナウイルス感染予防のため、時差通勤を実施したことから、全体的に電気の使用時間が長くなったとの思われます。

【大阪】コロナウイルスの影響でメンテ社員の帰社時間にばらつきが生じたことなどにより、全体の使用量が増大したものの思われます。

3) ガソリン使用量

環境目標項目	中期目標(期間:2020~2022年度)			備考
ガソリン使用量	東北	基準年度実績値の29%削減	18,767	単位:ℓ
	東京	基準年度実績値の12%削減	8,751	
	大阪	基準年度実績値の5%削減	11,478	
	合計	全体として基準年度実績値の19.5%削減	38,996	

目標達成状況(2020)		本社	東京	大阪	総合
基準年度実績値[ℓ]		26,433	9,944	12,082	48,459
基準年度		2012	2014	2016	
2020 年度目標	削減率	27.0%	18.0%	3.0%	19.2%
	目標値[ℓ]	19,296	8,154	11,719	39,170
2020年度実績		18,808	10,713	11,464	40,986
削減率 ※「-」は増加を示す		28.8%	-7.7%	5.1%	15.4%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)		○	×	○	△



4) 軽油使用量

環境目標項目	中期目標(期間:2020~2022年度)			備考
軽油使用量	東北	基準年度実績値の4%削減	1,119	単位:ℓ
	東京	基準年度実績値の4%削減	3,060	
	合計	全体として基準年度実績値の4.0%削減	4,179	

目標達成状況(2020)		本社	東京	総合
基準年度実績値[ℓ]		1,166	3,187	4,353
基準年度		2019	2019	
2020 年度目標	削減率	2.0%	2.0%	2.0%
	目標値[ℓ]	1,142	3,123	4,266
2020年度実績		1,309	3,207	4,516
削減率 ※「-」は増加を示す		-12.3%	-0.6%	-3.7%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)		×	×	×



【本社】コロナの影響等により、営業・業務車両の走行距離が2019年度比3.9%減少していることが主な要因と考えられます。

【東京】感染防止対策のため、電車通勤を見合わせ、業務車両を使用しての通勤を認めたことから走行距離が増加しました。

【大阪】業務車両の入替もあり、1台当たりの燃料使用量が増加したものと判断します。

【本社】使用頻度の増加によるものと推察されるので、来期以降の経過を観察する必要があります。

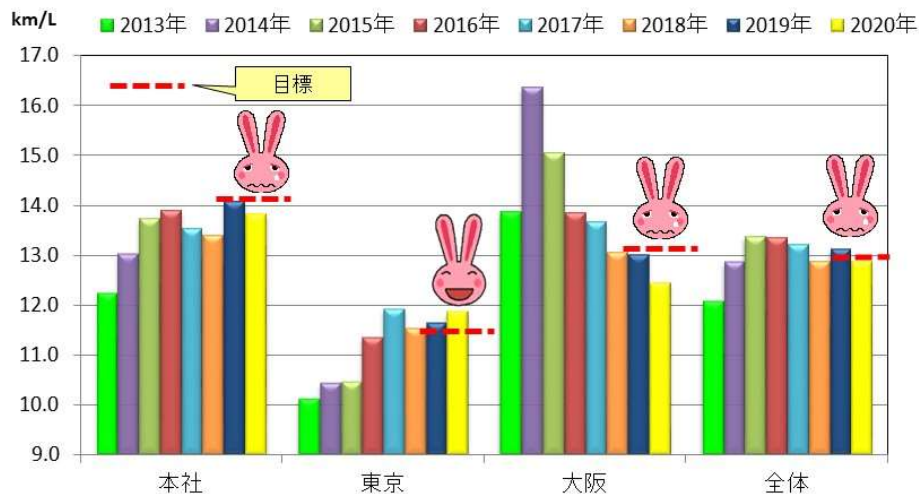
【東京】トラックによるプラント機材の搬入業務が影響したものとされます。データ数が少なく、ばらつきも大きいため、2021年度は2020年度の実績をもとに目標値の設定を行うこととします。

5) 車両燃費

環境目標項目		中期目標(期間:2020~2022年度)		備考
車両燃費	東北	基準年度燃費を21%向上	14.4	単位: km/ℓ
	東京	基準年度燃費を14%向上	12.0	
	大阪	基準年度燃費を23%向上	13.4	
	合計	基準年度燃費を14%向上	13.1	

燃費(km/L)	目標	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
本社	14.1	12.2	13.0	13.7	13.9	13.5	13.4	14.1	13.8
東京	11.6	10.1	10.4	10.5	11.4	11.9	11.5	11.7	11.9
大阪	13.1	13.9	16.4	15.0	13.8	13.7	13.0	13.0	12.4
全体	13.0	12.1	12.9	13.4	13.3	13.2	12.9	13.1	12.9

<車両燃費>



【本社】社用車の経年劣化・近隣への移動頻度増加などの燃費悪化の要因は様々です。

【東京】燃費の良い車両に変更したためと思われます。

【大阪】プロボックスからバネットに社用車を入替したことで、車両の積載量が増え、また薬品の搬入頻度の関係で燃費が落ちたものと思われます。

6) LPG使用量

環境目標項目		中期目標(期間:2020~2022年度)		備考
LPG使用量	東北	基準年度実績値の26%削減	2,384	単位: m3

目標達成状況(2020)		本社
基準年度実績値[m3]		3,221
基準年度		2010
2020年度目標	削減率	24.0%
	目標値[m3]	2,448
2020年度実績		2,522
削減率 ※「-」は増加を示す		21.7%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)		△

<LPG使用量>



【本社】2019年が記録的な暖冬だったことの反動で、冬期間の使用量が増加したものと判断します。空調設備の使用条件等について、親会社と連携の上、運用を検討していきます。

7) 一般廃棄物排出量（可燃ごみ&リサイクル率）

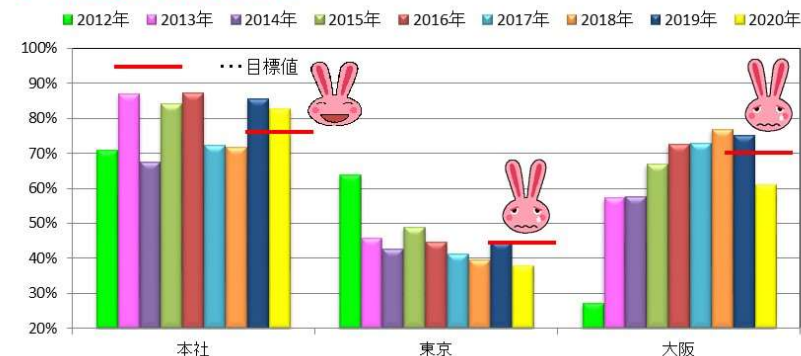
環境目標項目		中期目標（期間：2020～2022年度）		備考
一般廃棄物 （可燃ごみ） 排出量	東北	基準年度実績値の25%削減	238	単位：kg
	東京	基準年度実績値の7%削減	360	
	大阪	基準年度実績値の4%削減	203	
	合計	全体として基準年度実績値の16.6%削減	801	

目標達成状況（2020）		本社	東京	大阪	総合
基準年度実績値[kg]		318	387	247	953
基準年度		2013	2017	2017	
2020 年度目標	削減率	23.0%	5.0%	2.0%	10.2%
	目標値[kg]	245	368	242	855
2020年度実績		244	316	244	804
削減率 ※「-」は増加を示す		23.2%	18.4%	1.4%	15.6%
評価（○…達成，△…削減したが目標に達せず，×…未達）		○	○	△	○

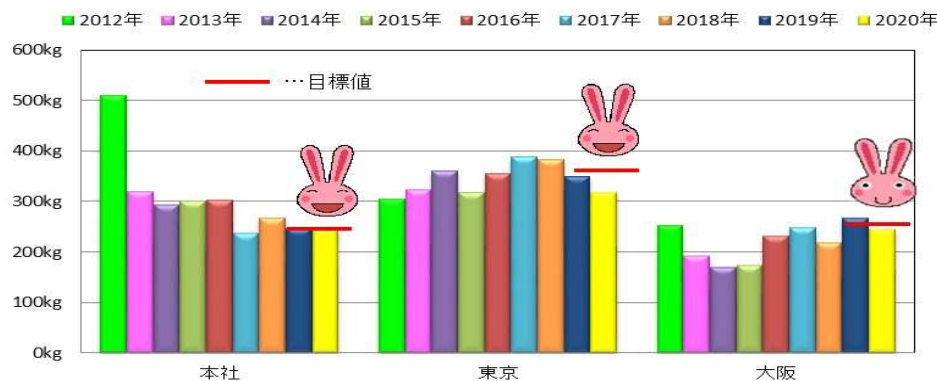
環境目標項目		中期目標（期間：2020～2022年度）
一般廃棄物 （リサイクル率）	東北	リサイクル率75%以上を維持
	東京	リサイクル率45%以上を維持
	大阪	リサイクル率70%以上を維持

目標達成状況（2020）		本社	東京	大阪
目標[%]		75%	45%	70%
2020年度実績		83%	38%	61%
評価（○…達成，△…削減したが目標に達せず，×…未達）		○	×	×

<一般廃棄物リサイクル率>



<可燃ゴミ排出量>



【本社】特に意識はしていないが、ペーパーレス化が進み、自然に可燃ごみなどの排出量が削減できているものと思われます。

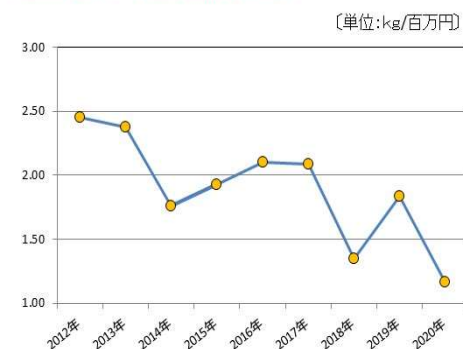
【東京】コロナウイルス感染予防のためテレワーク期間があったことが削減につながったものと判断します。

【大阪】：適切に分類を行い、まとめられるものは、まとめてから捨てるようしました。

コロナウイルス感染防止のため、昼食の外食が減り、社内で食べるようになったことがリサイクル率の低下の要因の一つかもしれません。

売上高あたりの発生量は、売り上げ増により、大幅に減少しました。長期的に見ても減少傾向が続いています。

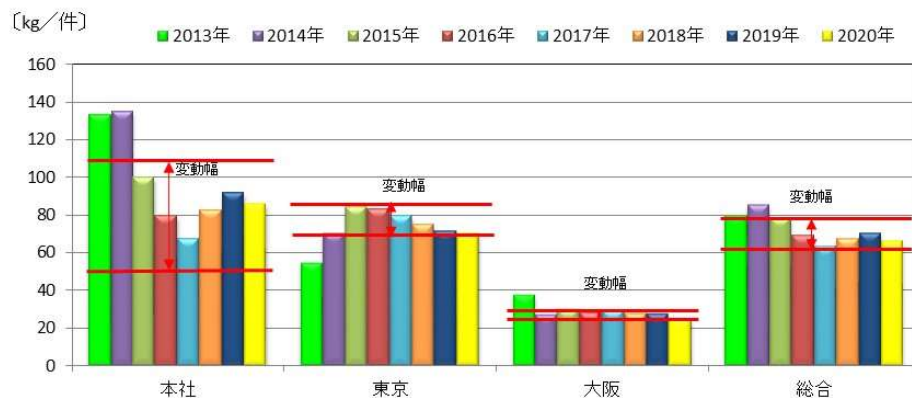
<売上高当たりの一般廃棄物排出量の推移>



8) 産業廃棄物排出量

目 標 (単年度・中長期)	のべ物件数あたりの累積産廃発生量を 適正な範囲に維持			
※適正範囲は毎年見直す		本社	東京	大阪
2015～2019年度 実績値から求めた 統計値	平均値	87	76	28
	標準偏差	16	5	1.3
	95%上端値	112	84	30
	95%下端値	51	69	26

<のべ物件数あたりの累積産廃発生量>



【本社】2014年～2017年は減少が続きましたが、2017年度以降は、増加傾向になり、2019年からはほぼ横ばい状態となっています。

【東京】2016年以降継続して減少傾向が続いています。

【大阪】水質が比較的良い物件を抱えていることから、本社・東京と比して、産廃の発生量が圧倒的に少なくなっており、変動もほとんどありません。また、再利用できるものは、他物件で使用するようになっています。

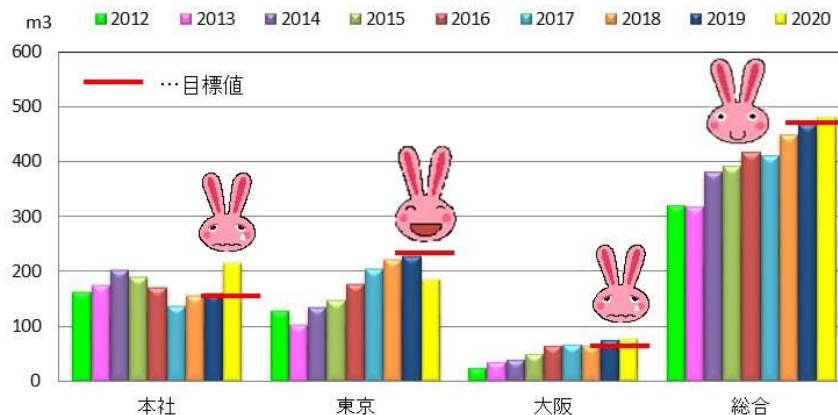
9) 水使用量

東北支店の膜洗浄で使用した分は除きます。(※)

環境目標項目	中期目標(期間:2020～2022年度)			備 考
水使用量 ※東北は膜洗浄で 使用した分を除く	東北	基準年度実績値の20%削減	164	単位:m3
	東京	基準年度実績値の4%削減	221	
	大阪	基準年度実績値の4%削減	74	
	合計	全体として基準年度実績値の10.4%削減	459	

目標達成状況(2020)	本社	東京	大阪	総合
基準年度実績値[m ³]	205	230	77	512
基準年度	2014	2019	2019	
2020 年度目標	削減率	20.0%	2.0%	9.2%
	目標値[m ³]	164	225	464
2020年度実績	216	187	79	482
削減率 ※「-」は増加を示す	-5.5%	18.7%	-2.6%	5.8%
評価(○…達成, △…削減したが目標に 達せず, ×…未達)	×	○	×	△

<水使用量の推移>



【本社】6月～9月に大幅増加となりました。原因は不明ですが、1月以降はほぼ正常な状況に戻っています。

【東京】コロナウイルス感染予防のため、テレワーク期間があったことが大幅削減の要因と考えられます。

【大阪】配管や交換したポンプなどを清掃したため、水の使用量が増加したと思われます。

10) 化学物質使用量（塩素消費量）

目 標 (単年度・中長期)	造水量1m3あたりの塩素使用量を 適正な範囲に維持		
※適正範囲は毎年見直す	本社	東京	大阪
実績評価期間	2015～2019	2015～2019	2018～2019
平均値	11.3	13.3	5.3
標準偏差	1.6	1.1	0.7
95%上端値	14.0	15.1	6.0
95%下端値	8.7	11.5	4.6

<造水量1m3あたりの塩素使用量>



【本社】過去の実績を基に設定した適正範囲の上限を超えていますが、水質の悪い物件が稼働し始めた影響と思われる、他の物件に異常はありません。

【東京】5月、6月にコロナウィルの影響で店舗の休業・時短営業により使用量が例年より少なくなりました。

【大阪】コロナウィルの影響により、装置の稼働時間が短くなったり、施設の休業により、ほとんど稼働していなかったりしたことによる影響と思われます。

11) 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境経営目標

【目標】メンテナンス出動回数を適正範囲に維持（長期的に削減）

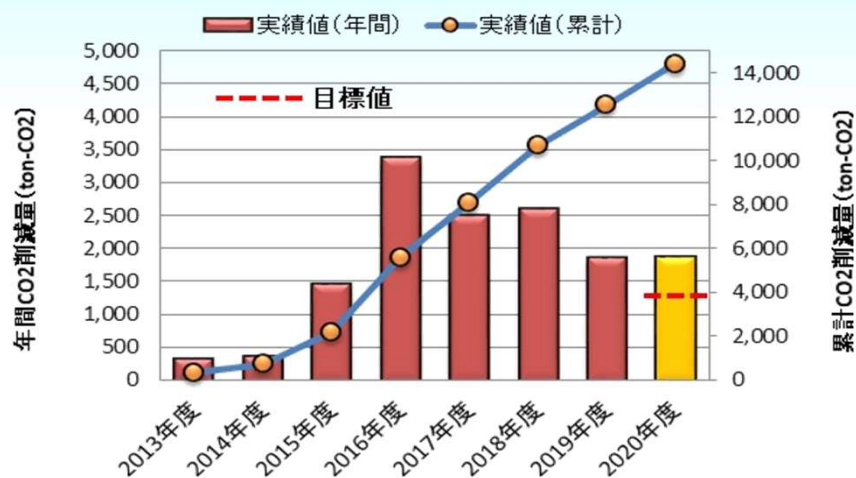
<物件当たりメンテナンス出動回数の推移>



以前は、お客様の施設内に設置してある処理プラントから警報が出る度に社員が現場に赴き必要な対応を取っていました。その回数を減らすことができれば、ガソリン消費量を減らすことができるだけでなく、コスト削減に役立ちます。24時間遠隔監視システム導入により、2014年度以降、全社的には減少傾向にあります。2020年度はコロナウィルの影響もあって、大きく減少しました。

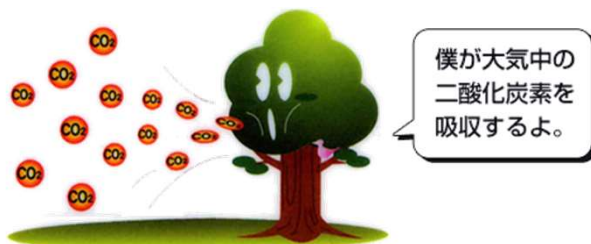
【目標】 省電力システムの販売促進によりお客様のCO₂排出量を削減

省電力事業による顧客CO₂削減量



2013年度から新規業務として立ち上げ、LED販売を中心に業務を展開してきました。既存機器からの切り替えによる省エネ効果を二酸化炭素削減量に換算すると2013～2020年度の累計では14,412tonもの二酸化炭素を削減したことになります。これは、40年生の杉人工林1,4638ha（東京ドーム348個）分の年間吸収量に相当します。（林野庁HPより）

LEDの普及が進んでいることから、今後はLEDに替わる省エネ商品の販売にシフトしていきます。



12) 地域貢献関連目標（対象：本社）

【目標】 植林など森林保護活動・環境NPOへの協力

良質な地下水は豊かな森林資源が育んでいます。当社では、植林活動などの支援を目的として、「緑の募金」に毎年寄付を行っています。また、環境NPOなどが主催する地球温暖化防止活動などに積極的に参加協力しています。

【目標】 会社周辺の清掃活動を実施（年2回以上）

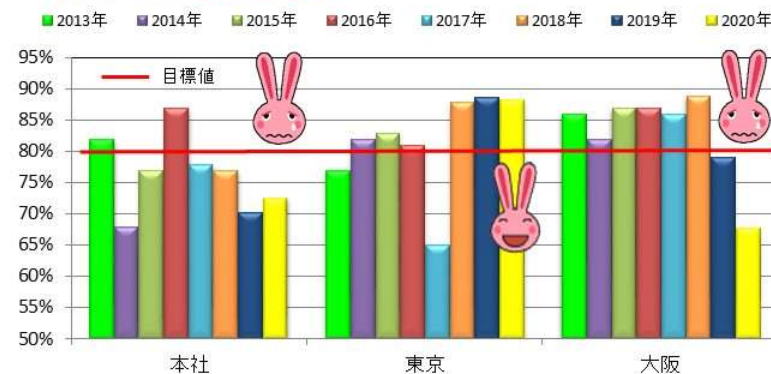
冬期間を除き、ほぼ毎月、本社（東北支店）周辺の清掃活動を実施しています。



13) グリーン購入

環境経営目標には入っていませんが、環境経営計画の取組みで、グリーン購入の取組みを推進しています。

<グリーン購入率の推移>



7. 環境経営計画と取組状況の評価



<評価判定の目安>

- …実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
 △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
 ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

(2021年4月現在)

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	本社	東京	大阪	是正処置の必要性
二酸化炭素排出量の削減	消費電力の削減 (LPGガス使用量の削減)	室温は気象条件などに配慮し、適切な温度で管理する。	△	○	○	是正対象
		定期的にエアコンのフィルターを清掃する	○	○	○	
		廊下・トイレなどの照明に人感センサーを取り付ける	○	○	○	
		OA機器・家電製品の待機電力の削減(コンセントを抜くなど)	○	○	○	
		プラントのポンプ類更新の際はトップランナー機器を採用する	○	○	○	
	車両運行に伴う化石燃料使用量の削減	エコドライブ10の実践	○	○	○	
		アイドリング停止の徹底とタイヤ空気圧のチェック	○	○	○	
		遠方の現場での連続複数日の業務の場合はなるべく宿泊する	○	○	○	
		不要な積荷を下ろし、軽量化に努める	○	△	△	是正対象
		オイル(5000km毎)とエレメント交換(1万km毎)	○	△	○	
		ハイブリッド車などのエコカーの導入	○	△	△	是正対象
	メンテナンスの効率化	遠隔監視システム導入等によるメンテナンス業務の効率化推進	○	○	○	
		スマホの活用によるメンテナンス作業の効率アップ	○	○	○	
廃棄物の削減と適正管理	一般廃棄物削減と分別の徹底	WEB会議の活用	○	○	○	
		分別ルールの掲示と周知・実践・廃棄物置場の整理整頓	○	○	○	
		紙類をシュレッダーにかけてリサイクルする	○	○	○	
		不要な資料提供の辞退	○	△	○	是正対象
		OA紙の裏表利用・縮小コピーなど	○	○	○	
	産業廃棄物の削減と適正管理	スマホを活用した電子決済システムの活用	○	○	△	是正対象
		保管場所の適正管理	○	○	○	
		契約書・manifestの管理ならびに実績報告	○	○	○	
		工事現場での分別収集(リサイクル可能な種類を対象)	○	○	○	
		自動水栓への交換	○	○	○	
総排水量の削減	水道使用量の削減 (地下水の適正利用)	漏水の確認	△	○	○	是正対象
		節水器具導入の検討	○	○	○	
化学物質削減関連	化学物質使用量の削減	使用量の把握ならびに保管状況の確認	○	○	○	
		SDS管理と更新(新規導入薬品の管理)	○	○	○	
グリーン購入	グリーン購入	エコ商品の情報収集と情報の共有化	○	○	○	
		名刺等印刷物のグリーン化推進	○	○	○	
		設備・機器・車両購入時の環境影響評価	○	○	○	
製品・サービス関連	省エネシステムの販売促進	顧客に対するプレゼンテーション等の実施	○	○	○	
		TVコマーシャル等マスコミを活用したPR	○	○	○	
		販売促進資料の整備と情報の収集	○	○	○	
現場での取組	現場周辺の環境保全とリスク管理	施工現場で使用する照明をLEDとする	○	○	○	
		建設現場取組チェックシートの活用	○	○	○	
地域貢献その他	森林保護活動への協力	森林保護団体への寄付	○	○	○	
	環境施策への協力	「山形県地球温暖化防止対策推進事業所」登録と実績報告	○	○	○	
	地域の環境保全への協力	会社周辺の清掃活動	○	○	○	
留意事項	※太字の項目は、「製品・サービス関連目標」に属する活動計画である。下線文字の項目は新規活動項目、斜体文字は建設現場での取組項目である。					

<2020年度取組状況の総括>

半期ごとに取組み状況の評価を行っていますが2期連続で取組が不十分と判定された場合、是正の対象としています。本社においては、室温管理や漏水チェック、東京では不要な積荷の荷下ろしなど4項目、大阪では、電子決済システムの活用など2項目が対象となり、いずれも適切に是正処置が取られています。



年2回(5月, 11月)の全体会議時に合わせ、環境教育を行っています。2021年5月の会議と教育はWEBを活用して実施しました。



8. 2021年度の環境経営目標と環境経営計画



8-1. 環境経営目標

2021年度においては、2020年度の実績をもとに無理のない、新たな目標を設定し、取り組んでいきます。これ以上の削減が難しい項目については、維持目標とします。また、中期目標についても2020年度の実績と事業計画や環境政策の動向等を見据えながら、毎年、見直しを行っていくこととします。

8-2. 環境経営計画

効果があまり期待できない項目を削除するとともに、費用対効果を考えながら新たな取組みを追加し、マンネリ化の防止を図っていきます。建設現場においては、現場の状況に応じた重点取組み項目を定め、下請け業者も含めた取組みを推進していきます。また、SDGsとの関連を意識して取組み項目の設定を行います。

9. 環境関連法規等の遵守状況 ・訴訟等の有無



9-1. 適用される環境関連法規等とその遵守状況

2021年6月30日付で遵守状況を確認した結果は、下記のとおりでした。

■廃棄物処理法

建設現場も含め、遵守状況に問題ありません。

■自動車リサイクル法 ■家電リサイクル法

車両の更新の際、廃車の処理については、同法に基づき、適切に処理しています。家電リサイクル法に該当する案件はありません。

■水質汚濁防止法（油水分離槽） ■下水道法

事故等の発生はありませんでした。

■毒劇物取締法

本社（東北支店）のみ、非届出業者に該当しますが、紛失防止措置等の要求事項に問題はありませんでした。事故等の発生もありません。

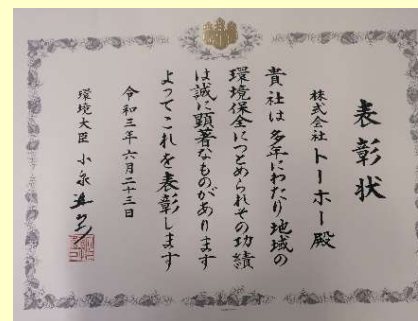
■フロン排出抑制法

本社の空調用ヒートポンプについては業者に委託、その他の業務用エアコンについては、簡易点検表を作成し、定期的に点検し記録を残しています。

9-2. 訴訟等の有無

環境面での訴訟、行政処分等は、創業以来、一度もありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。

環境保全功労者表彰 祝



当社は、長年にわたって地域の環境保全に貢献したとして、この度、環境大臣より、2021年度「地域環境保全功労者表彰」を受賞しました。例年だと東京で表彰式が執り行われるのですが、コロナウィルス感染防止のため、県庁での伝達式となりました。

10. 代表者による全体の評価と見直し

取組開始以降の二酸化炭素削減率は、残念ながら、わずか2.1%にとどまっております。パリ協定での日本の目標46%には遥かに及びません。そういった意味において、省エネルギーの成果は十分とは言えませんが、所謂「ケチケチ運動」にとどまらず、過去の実績に基づいて統計的な管理手法を取り入れていること、地下水浄化装置のメンテナンスの効率化、省電力事業の推進など、経営と密着した取組みを進めており、環境経営としての有効性は高いと判断しています。業務量の増加、増員などの影響により、環境負荷も年々増加傾向にあります。それに伴い環境負荷がある程度増加することはやむを得ません。極力無駄を省きながら、経営効率化の推進と従業員のモチベーションを上げる取組みを重視しつつ、特に省電力事業部門での営業活動を一層強化し、お客様の環境負荷削減に寄与していく所存です。おかげさまで、令和3年6月、環境大臣から「環境保全功労者表彰」を受賞しました。これを機に、持続可能な開発目標（SDGs）との関連性を意識しつつ、エコアクション21の取組みを一層推進していく所存です。

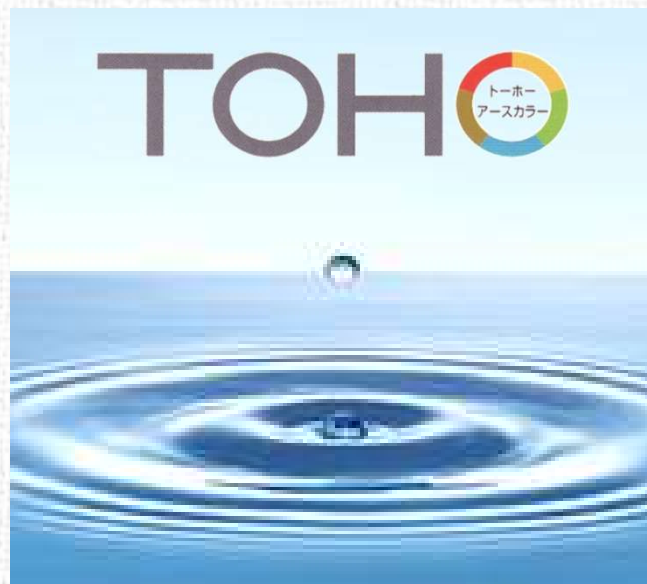
2021年7月20日

代表取締役社長 横澤 裕一



＜EA21環境経営システム変更の必要性和主な変更内容＞

■環境経営方針	変更の必要はない。
■環境経営目標	2020年度の実績をもとに、環境経営目標値を柔軟に見直すこと。
■環境経営計画	効果が期待できないような項目は削除し、一つでも二つでも新たな取り組みを加え、マンネリ化を防ぐこと。車両燃費の向上に資する取組みを充実させること。
■実施体制	一部推進員の交代。
■システム全般	支店ごとにある程度、PDCAを回し、独自の取組みを推進していくことが望ましい。



〒994-0063 天童市東長岡4丁目2番17号
TEL023-658-4115 FAX023-658-4114

この環境経営レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社・各支店窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
また、当社HP (<http://www.tohoinc.com/>)，エコアクション21中央事務局
のHP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。